

[Web 版大規模科学計算システムニュースより]

大規模科学計算システムニュースに掲載された記事の一部を転載しています。 <http://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/tayori/>

コンパイラのバージョンアップについて (No. 263)

2018年8月29日に Intel コンパイラをバージョンアップいたします。
 詳細につきましては、リリースメモをご覧ください。

対象システム	コンパイラ名	旧バージョン	新バージョン	リリースメモ
LX406Re-2	Intel Fortran Compiler	17.0 update 4	2018 update 3	Fortran リリースメモ *1
	Intel C++ Compiler	17.0 update 4	2018 update 3	C/C++ リリースメモ *2
	Intel MPI Library	2017 update 3	2018 update 3	MPI ライブラリリリースメモ *3

*1 http://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/PDF/20180727/Release_NotesF_v18.pdf

*2 http://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/PDF/20180727/Release_NotesC_v18.pdf

*3 <https://software.intel.com/en-us/articles/intel-mpi-library-release-notes-linux#inpage-nav-3-1>

なお、コンパイルコマンドに変更はありません。オプションの詳細は、sxman コマンドや PDF 版マニュアルで参照できます。参照方法は、以下をご覧ください。

http://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/super/online_manual.html

(共同利用支援係, 共同研究支援係)

利用者番号(アカウント)管理の徹底について (No.264)

当センターの大規模科学計算システムでは、利用に関する内規に記載された利用資格に該当し、利用を承認された本人のみが、利用者番号 (アカウント) を利用できます。利用者番号を他者へ貸与することは厳しく禁止されておりますので、改めてご注意をお願いいたします。

利用者番号を登録しても、利用しなければ負担金は発生しませんので、実際に計算機システムを利用する方全員の利用申請を行ってください。また、不正アクセスの危険性が高まりますので、以下のことを行わないよう秘密鍵の管理の徹底もお願いいたします。

- ・パスフレーズなしの秘密鍵の使用
- ・秘密鍵、パスフレーズの使い回し
- ・秘密鍵のメール添付、USB メモリやホームディレクトリに保存

情報セキュリティ対策の強化のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(共同利用支援係)

利用負担金額の表示コマンドについて (No. 265)

本センター大規模科学計算システムでは、利用者の利用額とプロジェクトごとに集計した負担額、請求情報を表示するためのコマンドとして ukakin, pkakin があります。また、利用者のジャーナル情報とプロジェクトごとに集計したジャーナル情報を CSV 形式で出力するコマンド ulist, plist があります。これらのコマンドは、並列コンピュータ (front.cc.tohoku.ac.jp) にログインして使用します。

コマンド名	機 能
ukakin	利用者ごとの利用額を各システム、月ごとに表示
pkakin	プロジェクトごとに集計した負担額、請求情報を表示
ulist	利用者ごとのジャーナルを CSV 形式で出力
plist	プロジェクトごとに集計したジャーナルを CSV 形式で出力

いずれも、前日までご利用いただいた金額を表示します。コマンド使用例は大規模科学計算システムウェブページをご覧ください。

負担金の確認

<http://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/utilize/academic.html#負担金の確認>

(共同利用支援係)